

●調査レポート

埼玉県内企業の2013年度春季賃上げ見通し調査

調査対象：県内企業 575 社

調査方法：アンケート方式（2月上旬 郵送回収）

回答企業：258 社(回答率 44.9%)

業種別内訳：製造業 145 社 非製造業 113 社

要旨

○本調査が実施された 2013 年 2 月上旬の時点で、円高是正や株価の上昇基調が続くなど景気回復期待が高まっている。しかしながら、今春の賃上げ見通しは、業種間あるいは規模の違いによる差異がある。前年並みの賃上げを確保するものの、総じて慎重な姿勢が窺われる結果となっている。

○全体では、賃上げを予定している企業の割合は 46.2%と半数に満たなかった。また、「未定」が 3 割強を占め、自社を取り巻く経営環境を考慮し、十分に検討を加えた上で賃上げに取り組もうとする経営者の姿勢が窺われる。

○1 人当たり平均賃上げ予定額の方針は、製造、非製造業ともに「前年度比横ばいの見通し」が最も多く半数程度を占め、前年並みとする方針が中心であることが窺われる。

○1 人当たり平均賃上げ予定額と賃上げ予定率(両者とも定昇とベースアップ込み加重平均、以下同じ)は、全体では金額ベースで 5,114 円、率で 1.97%とともに前年度の 4,884 円、1.84%より若干増えている。業種別では、製造業が 4,436 円、2.02%で、非製造業の 5,622 円、1.92%より金額では低く、率では高くなっている。規模別では、「規模の大きい企業」(従業員 100 人以上、以下同じ)は 5,195 円、2.00%で、「規模の小さい企業」(従業員 100 人未満、以下同じ)の 4,619 円、1.73%よりも賃上げ額、賃上げ率ともに高くなっている。

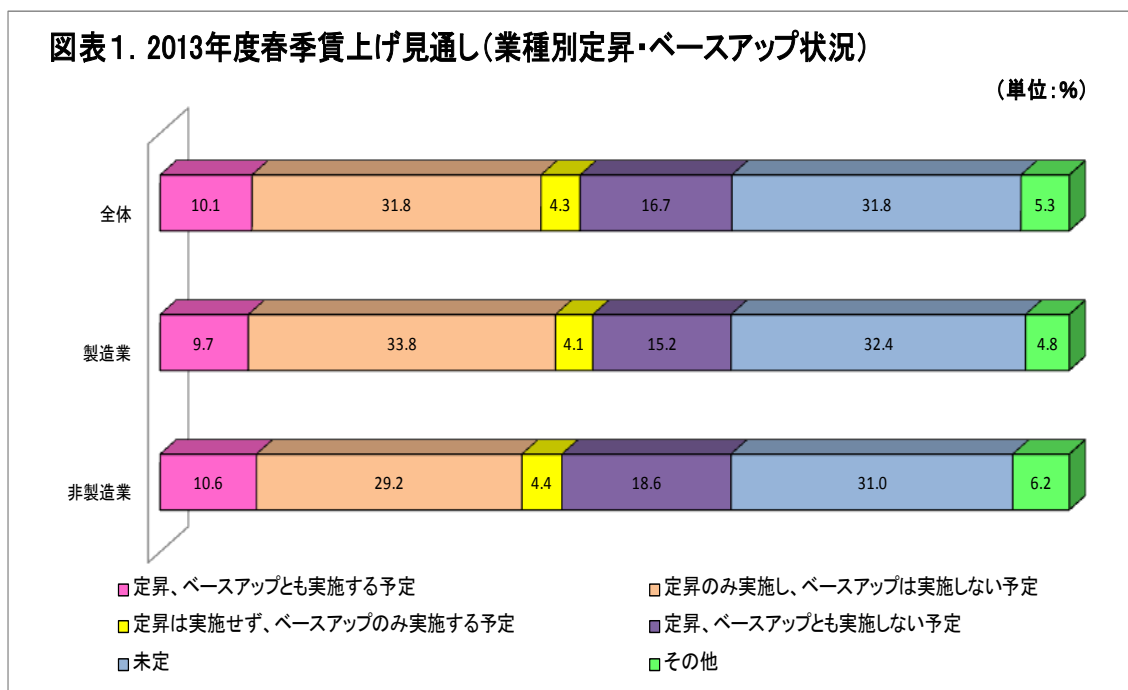
1. 春季賃上げ取組予定

(1) 全体

①賃上げ実施の有無

今年度から、賃上げの実施内容を定昇とベースアップに区分して尋ねた。2013 年度に賃上げを予定している割合(「定昇、ベースアップとも実施する予定」、「定昇のみ実施し、ベースアップは実施しない予定」及び「定昇は実施せず、ベースアップのみ実施する予定」の合計割合)は、46.2%と半数に満たなかった。一方、「定昇、ベースアップとも実施しない予定」割合つまり今年度は賃上げを行わない予定割合は 16.7%であったほか、「未定」が 31.8%と 3 割強の企業が 2013 年度の賃上げ取組方針をまだ決定していなかった。円高の是正や株価が回復し上昇基調にあることなどが、企業業績にどの程度寄与するののできる限り見極めた上で、判断したいとする経営者の意識が窺われる。(図表 1)

図表1. 2013年度春季賃上げ見通し(業種別定昇・ベースアップ状況)



②定昇とベースアップの取組状況

賃上げを予定している企業の定昇とベースアップの取組状況を見ると、「定昇のみ実施し、ベースアップは実施しない予定」の割合は31.8%と最も多く、次いで「定昇、ベースアップとも実施する予定」10.1%、「定昇は実施せず、ベースアップのみ実施する予定」4.3%であった。今春の賃上げは、定昇中心となっている。景気回復に対する期待が高まっているものの、自社の業績回復が不透明であることから、経営者が、ベースアップの実施には慎重となっているとみられる。(図表1)

(2) 業種別

①賃上げ実施の有無

賃上げを予定している割合は、製造業で47.6%、非製造業で44.2%となっており、製造業が非製造業を3.4%上回っている。一方、「定昇、ベースアップとも実施しない予定」が製造業で15.2%、非製造業で18.6%となっている。「未定」の割合は、製造業、非製造業ともに3割強を占めており、両者とも約3分の1の経営者は、自社を取り巻く経営環境を考慮し十分に検討を加えたいという意識がうかがえる。(図表1)

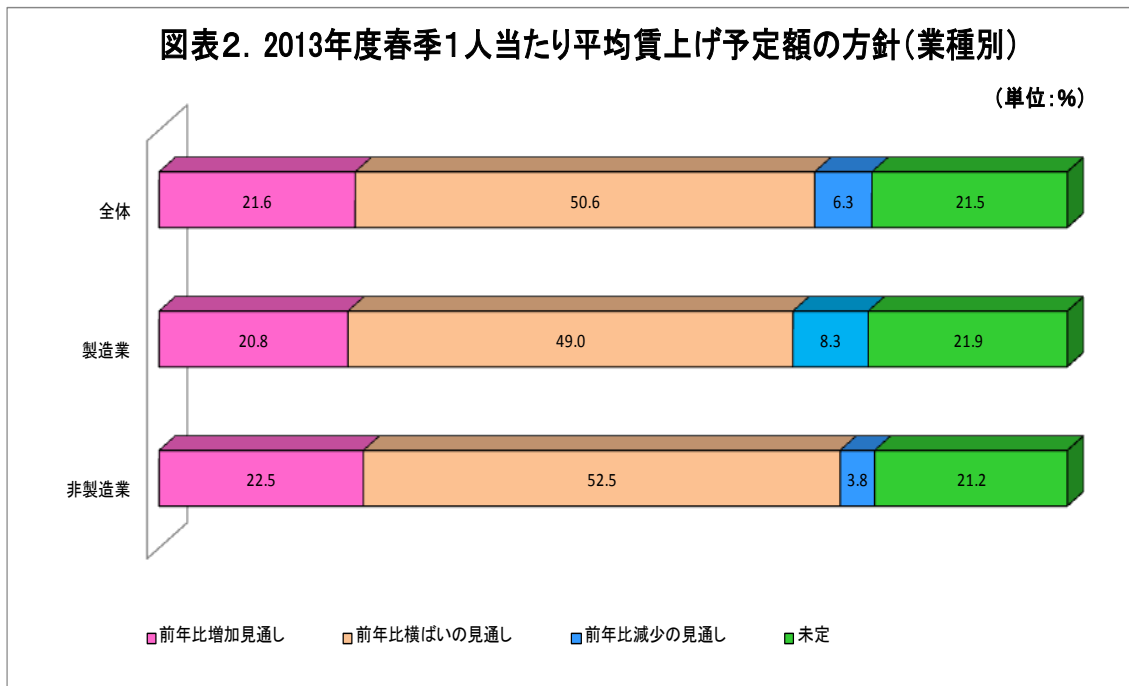
②定昇とベースアップの取組状況

業種別に賃上げを予定している企業の定昇とベースアップの取組状況を見ると、製造業、非製造業ともに、「定昇のみ実施し、ベースアップは実施しない予定」の割合が最も多く、次いで「定昇、ベースアップとも実施する予定」、「定昇は実施せず、ベースアップのみ実施する予定」の順に変わりはない。ただし、非製造業は、「定昇、ベースアップとも実施する予定」が、製造業よりも若干多くなっている。(図表1)

2. 1人当たり平均賃上げ予定額の方針

(1) 全体

賃上げを予定している企業に、1人当たり平均賃上げ予定額について尋ねたところ、「前年比横ばいの見通し」が50.6%と過半を占め、「前年比増加見通し」の割合が21.6%、「前年比減少見通し」が6.3%となった。従って、今年度の1人当たり平均賃上げ予定額に関する経営者の方針は、前年並みとする方針が中心であることが窺われる。(図表2)



(2) 業種別

製造業で、2013年度は「前年比横ばいの見通し」が49.0%と5割弱を占め最も多い状況下で、「前年比増加見通し」の割合が20.8%、「前年比減少見通し」が8.3%となった。

非製造業で、同様に「前年比横ばいの見通し」が52.5%と5割強を占め最も多い状況に変わりないものの、「前年比増加見通し」の割合が22.5%、「前年比減少見通し」が3.8%となった。

製造業、非製造業ともに、全体と同様に今年度の1人当たり平均賃上げ予定額は、横ばいとする企業が半数程度を占め、前年並みとする方針が中心となっている。(図表2)

3. 1人当たり平均賃上げ予定額及び賃上げ率

(1) 全体

全体の2013年度平均賃上げ予定額は5,114円、平均賃上げ率は1.97%と、2012年度実績(4,884円、1.84%)に比べ賃上げ額、賃上げ率ともに230円、0.13%と僅かに増加することが見込まれる。(図表3)

(2) 業種別

業種別に比較すると、製造業は非製造業よりも金額で1,186円下回る一方、率で0.10%点上回っている。

製造業では、金額4,436円、率2.02%と、2012年度実績の4,189円、1.81%に比べ、賃上げ額、賃上げ率ともに247円、0.21%と僅かに増加している。同様に、非製造業でも、金額5,622円、率1.92%と、2012年度の5,438円、1.86%に比べ184円、0.06%と僅かに増加している。(図表3)

(3) 規模別

規模別に比較すると、「規模の大きい企業」は、「規模の小さい企業」よりも金額で576円、率で0.27%点上回った。

「規模の大きい企業」は、金額5,195円、率2.00%と、2012年度実績の4,981円、1.91%に比べ214円、0.09%と若干増加した。同様に、「規模の小さい企業」でも、金額4,619円、率1.73%と、2012年度の4,283円、1.42%に比べ賃上げ額、賃上げ率ともに336円、0.31%と若干増加した。(図表3)

図表3. 2013年度春季1人当たり平均賃上げ予定額・賃上げ率

(単位：円、%)

区分	1人当たり平均賃上げ額			1人当たり平均賃上げ率		
	2013年度 予定額 A	2012年度 実績額 B	前年度比増 減額 A-B	2013年度 予定率 C	2012年度 実績率 D	前年度比増 減率 C-D
全体	5,114	4,884	230	1.97	1.84	0.13
製造業	4,436	4,189	247	2.02	1.81	0.21
非製造業	5,622	5,438	184	1.92	1.86	0.06
規模の大きい企業	5,195	4,981	214	2.00	1.91	0.09
規模の小さい企業	4,619	4,283	336	1.73	1.42	0.31

(注)平均賃上げ予定額及び賃上げ予定率はともに定昇、ベースアップ込み加重平均による。

以上